

在宅医療連携拠点事業説明資料 志村フロイデグループの概要

平成23年7月4日

医療法人 博仁会

1



地域特性



- ①茨城県北西部地域は県内で最も高齢化・過疎化が進んでいる
- ②保健医療圏内において南部の工業・人口増加地域と北部の農業・人口減少地域に2分される
- ③北部は低年金の高齢者が多く、独居、高齢者のみの世帯が増加している
- ④人口10万人当たりの医師・看護師数が全国の中で最下位クラスにある医療資源の乏しい地域

(46位) (43位)

茨城県 医師数162人 看護師数865人
 全国平均 医師数225人 看護師数1036人
 当保健医療圏 : 医師数 86.1人(茨城県平均数値の半分)
 看護師数 767人
 (平成20年統計資料)

H23年5月1日現在

保健医療圏 市町村名	診療所		病院			訪問看護数	地域		H22年調査 高齢化率	H17年調査 人口増加率
	無床	有床	20~50床 未満	50~200 床未満	200床以上		人口	面積 (平方km)		
ひたちなか市	56	15	4	3	1	1	156,687	99.04	20.1	1.3
東海村	11	1		1		1	37,582	37.48	20.4	3.3
大子町	1	2	1	2		1	20,447	325.78	36.8	-7.8
常陸太田市	6	7	1	4		0	55,682	372.01	29.6	-3.3
那珂市	22	5		3	1	1	55,889	97.80	24.6	-0.7
常陸大宮市	13	3		2		2	44,664	348.38	29.2	-2.4
合計	109	33	6	15	2	6	370,951	1,280.49	24.3	-

2

志村フロイデグループの紹介

3

法人の経営理念・目標



経営理念



私たちは、お客様が住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていただくために必要な保健・医療・福祉の総合的なサービスの提供に努めます

経営目標

私たちは、県央・県北西部のリハビリセンターと高齢者・障害者総合ケアシステムの確立を実現します。

4

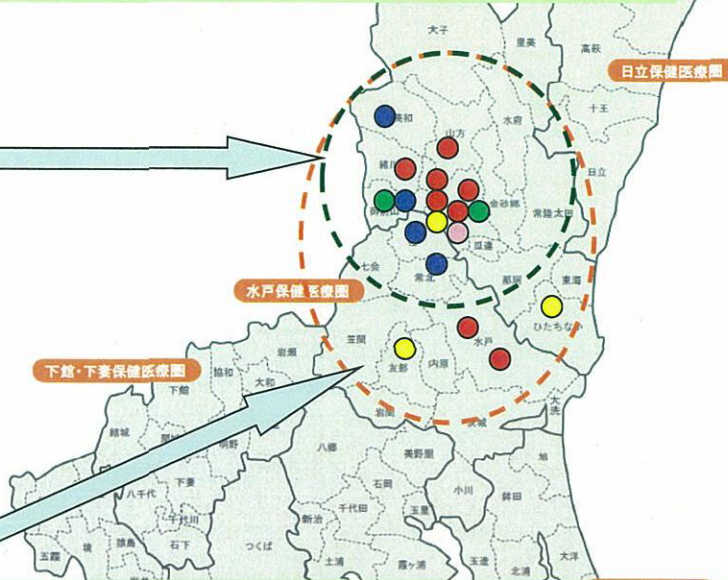
志村フロイデグループの展開



●フロイデ総合在宅支援システム

常陸大宮市を中心とする
県北西部地域
↓
地域完結型エリア

水戸周辺を含む
県央・県北西部地域
↓
地域連携型エリア



- 24時間・365日の地域包括ケアの成立を目指す！
- 在宅部門の総力を結集し、在宅復帰を可能にする！

医療法人博仁会の沿革・概要



法人の沿革(概略)	
昭和26年	志村大宮病院設立
平成8年	介護老人保健施設 大宮フロイデハイム開設
平成15年	茨城北西総合リハビリテーションセンター開設 (回復期病棟・総合リハビリテーション施設)
平成20年	志村クリニックごぜんやま開設
平成21年	DPC対象病院
平成22年	在宅療養支援病院

病院の概要	
許可病床数	169床
	(一般63床 亜急性期8床 回復期50床 介護療養48床)
看護体制	一般:10対1 看護補助加算1
リハビリ	脳血管 I 運動器 I 呼吸器 I
診療科目	15科目
外来処方	院外処方

外部機関認定・認証 病院機能評価vol. 5(複合A) ISO9001・2008 プライバシーマーク

地域医療連携と入退院患者の流れ

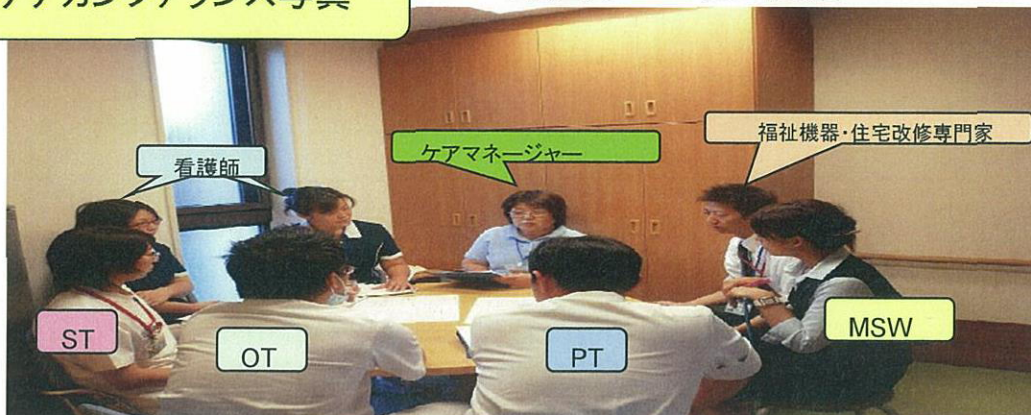
9

志村フロイデグループ入退院支援体制



- 志村地域医療連携センター 4名
看護師1名 MSW3名
- 相談員 6名
老健3名 通所1名 特養2名
- リハケアカンファランス
(回復期病棟・亜急性期病棟)月平均20回
本人・家族・相談員・看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・ケアマネジャー
- 在宅カンファランス
(一般病棟)
月平均24回実施
- 入退院調整ミーティング
毎週月～土曜日実施

リハケアカンファランス写真



10

平成22年度紹介実績(逆紹介除く)

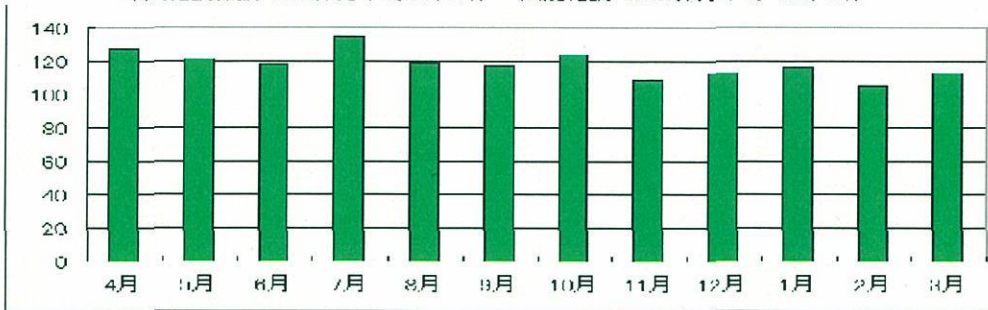


紹介患者様推移(逆紹介を含む)

年間紹介数 1417件 (月平均 118件)

年間相談件数・入院相談件数

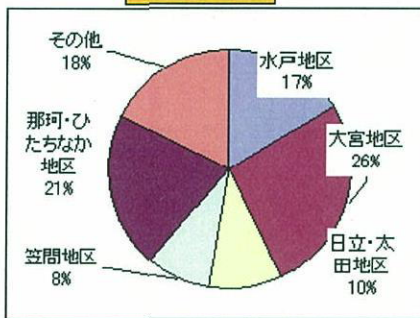
年間相談件数 967件月平均80.6件 入院相談 369件月平均 30.6件



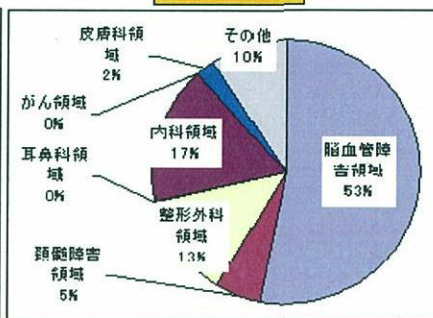
4月	127
5月	121
6月	118
7月	135
8月	119
9月	117
10月	124
11月	108
12月	113
1月	116
2月	105
3月	113

紹介患者様情報

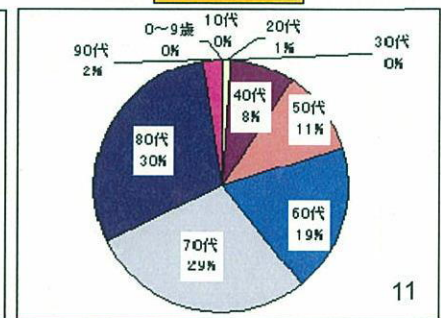
①地域別



②疾患別



③年齢別

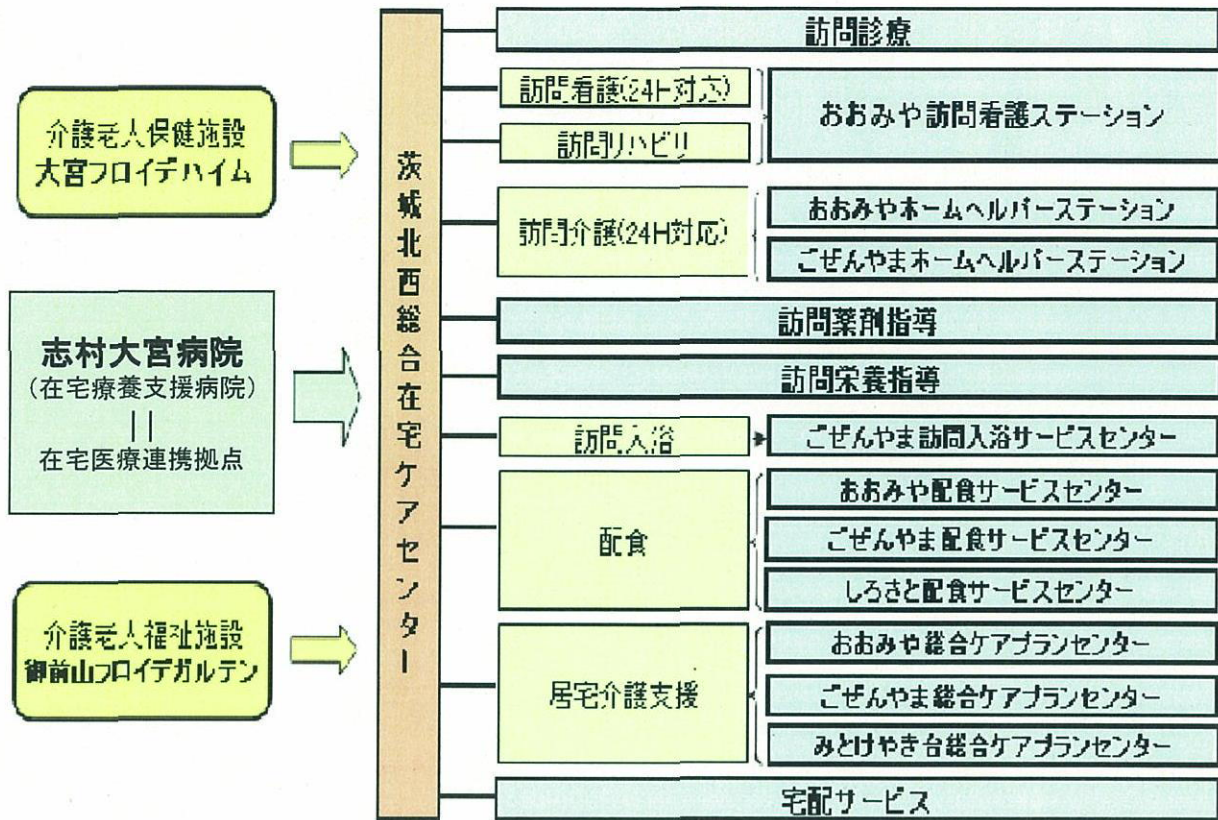


11



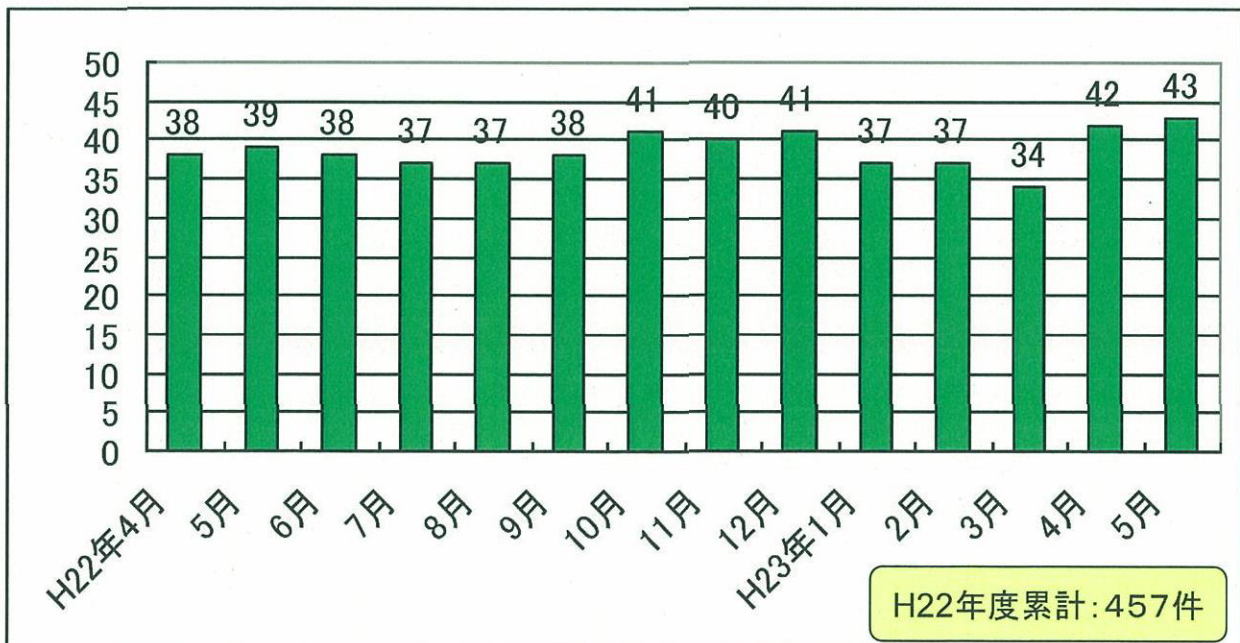
在宅サービス提供実績

志村フロイデグループの在宅支援体制



13

訪問診療・往診の実績



在宅における死亡診断加算	5件	在宅ターミナルケア加算	2件
在宅時医学総合管理料	11件		

おおみや訪問看護ステーションの訪問実績

平成22年度はH22年4月～H23年3月までの月平均
(件数比率 医療保険:35% 介護保険:65%)

月平均訪問件数推移



緊急時訪問件数 月平均19.6件
24時間対応件数 月平均14.3件
ターミナルケア件数 月平均 0.5件
H22年度在宅看取り件数8件
長期例外を除き平均3週間の利用期間
訪問看護職員一人当訪問件数
月平均87.5件 1日平均 4.1件

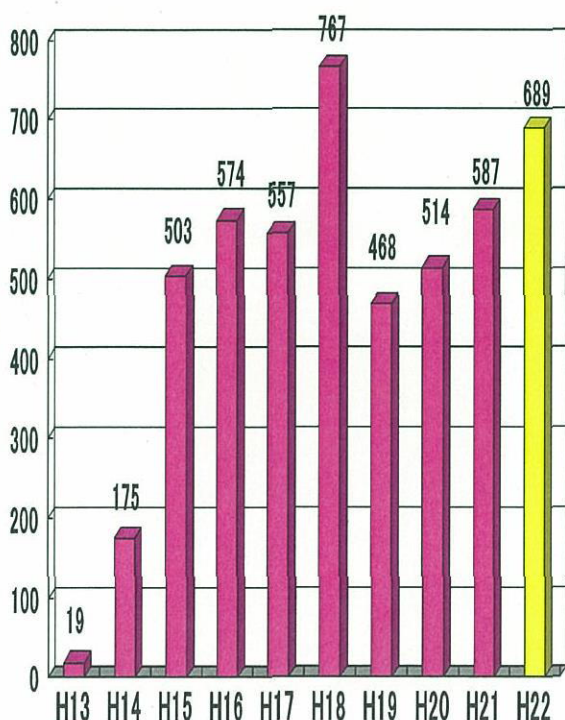
片道最大距離 35km
山道が多く、民家までは公道からさらに狭い道を登る
訪問看護ができる看護師が少ない
訪問看護の利用ニーズは高いが供給できる人材が少ない

地方では病院・施設でのターミナル対応が多くなる

訪問薬剤管理指導の実績

平成22年度はH22年4月～H23年3月までの累計

年間訪問件数推移



居宅系施設訪問 H22年度実績
982件
訪問薬剤指導は薬剤師1名で対応

片道最大距離 訪問看護と同じ

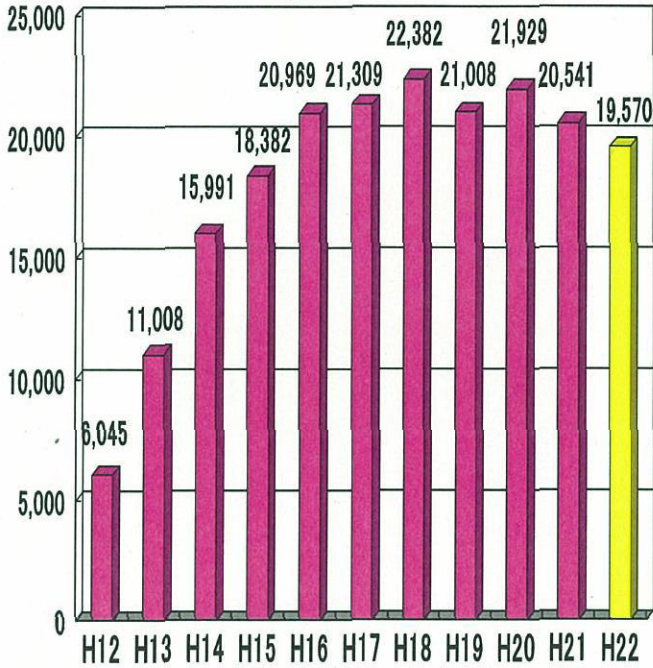
認知症高齢者の患者が多いため、①飲み忘れ②薬効を認識できない等により一包化等の対応があるが、それだけでは十分でない。
①食前・食直前等の区分が認識できないため、出来る限り簡易化した区分にする。
②患者の生活リズムに合わせて処方変更する。
(朝・昼・夕の区分では患者の生活に合わない場合、例えば10時過ぎに起きる方等の場合朝分の処方薬を飲まない。)
③カレンダーに貼り付ける。
④専用ケースに入れ区分し、認識を高める。

ヘルパーステーションの実績



平成22年度はH22年4月～H23年3月までの累計

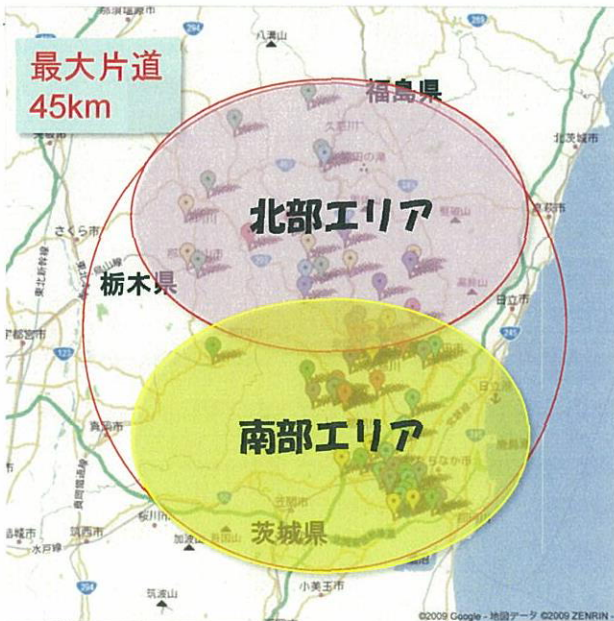
おおみやステーション



ごぜんやまステーション



訪問リハビリテーションの実績



- 主に訪問看護7-2
- リハビリスタッフ:計6名
 - PT2名(専任)
 - OT3名(専任)
 - ST1名(兼任)
- 対象地域
 - 範囲 - 東西:35km 南北:65km
 - 常陸大宮市、那珂市
 - 城里町、水戸市
 - 常陸太田市(旧常陸太田市)
 - 大子町
 - 栃木県(旧烏山町・旧馬頭町・茂木町)

平成21・22年度月別件数(実績)

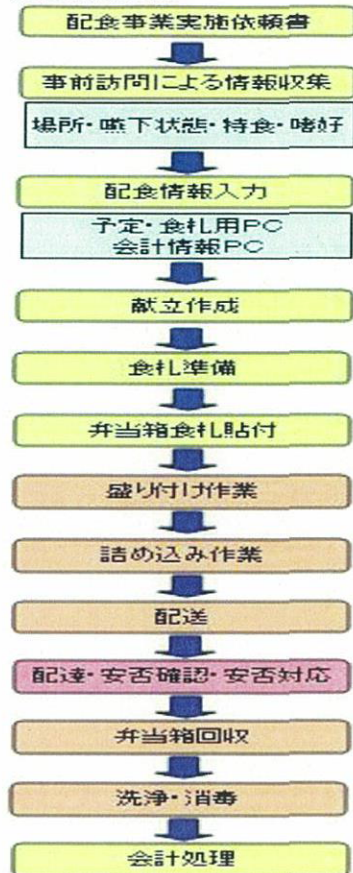
(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成21年度	245	264	271	272	247	256	285	263	280	287	278	295	3,243
平成22年度	280	295	313	333	334	337	344	318	368	327	306	361	3,916

配食サービス提供実績③



(1) 配食工程



常食(昼食)



持食(昼食)



ソフト食(昼食)



保温弁当箱使用



(2) 持食対応

事前訪問による情報収集
塩分制限食 } 対応
蛋白制限食 }
嚥下食 }
状況により弁当をセットして喫食できる状態にする対応もする。

(3) 安否確認・確認できない場合の対応

配食弁当配達時に必ず声掛けを行い、本人の安否を確認する。
応答が無い場合は、緊急連絡先へ連絡し対応する。連絡が取れない場合は行政へ連絡する。

(4) その他の対応

高齢者の場合、食事をする時間に決まりがたいため、保温や弁当の時間経過による傷みに注意する必要がある。
このため保温弁当による事故防止を図ることが重要である。

食はいのち
365日3食提供
しています。

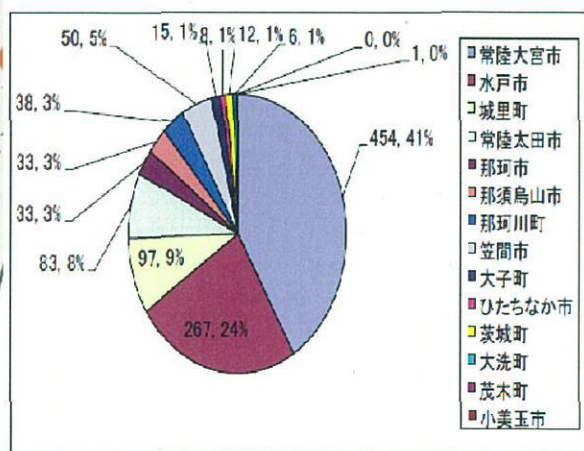
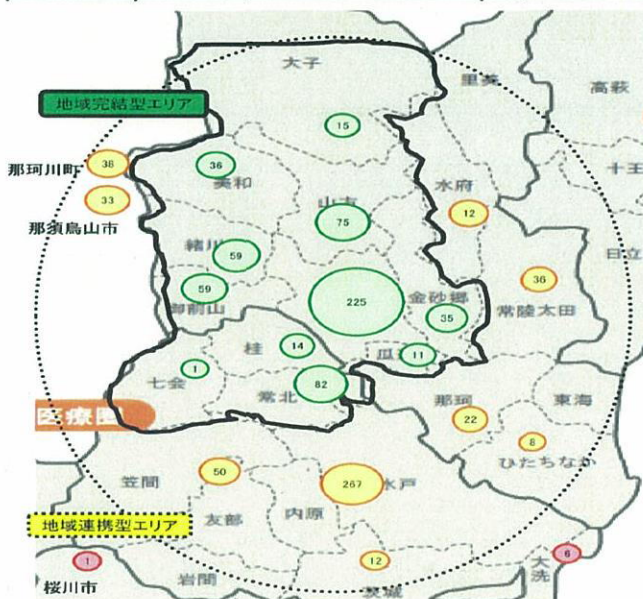
通所サービス利用者分布・実績



平成23年5月度 SFG通所サービス利用者登録数(小規模多機能含む)

※複数サービス利用者は「1」カウント。博仁会+博友会のサービス併用者は「2」カウント

	地域完結型エリア	地域連携型エリア	総合計
5月実績	612	478	1097



リハビリ提供と地域連携体制

23



志村大宮病院 茨城北西総合リハビリテーションセンター
回復期リハビリ病棟 スイス館

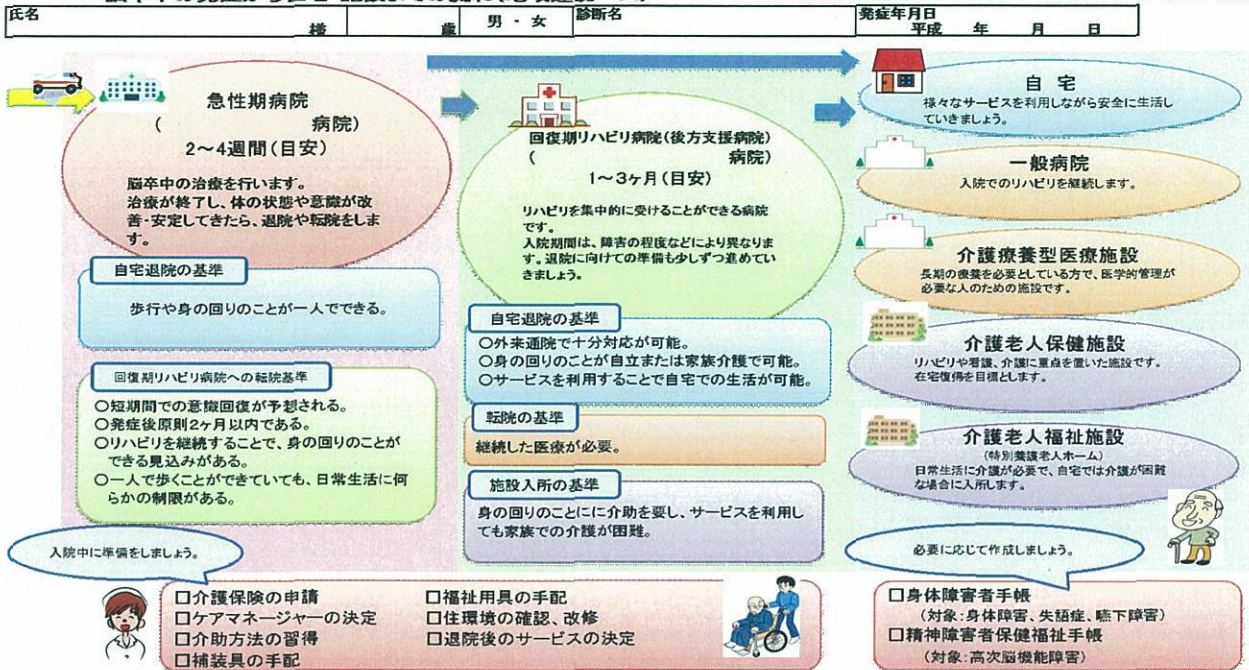
24

茨城県央・県北地域連携パス（急性期～回復期）

(1) 患者用連携パス

～ 脳卒中の発症から在宅・施設までの流れ(地域連携パス)～

茨城県央・県北脳卒中地域連携パス研究会 2008年10月20日 作成



※発症から自宅・施設までの流れを円滑に進めるため、地域連携パスを使用します。地域連携パスを使用される方の情報は、今後の地域医療の発展のため、データ分析や学会発表に用いる場合もございますので、ご了承ください。その場合は、個人を特定できる情報は使用致しません。※地域連携パスとは、転院時にスムーズに患者様の状態を伝達するため、地域で統一された情報提供のことです。※病状、今後の流れ等について不明な点がございましたら、担当職員までお気軽に御相談下さい。

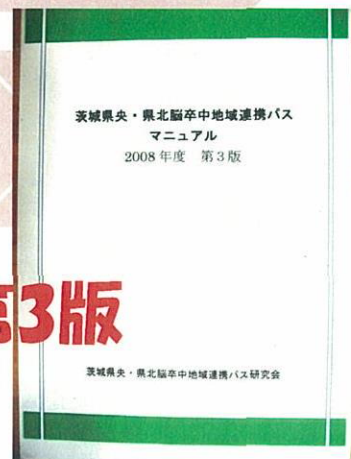
	急性期病院			回復期リハビリ病院				
説明担当者(職種)	()			()				
説明年月日	平成	年	月	日	平成	年	月	日
説明を受けられた方(続柄)	()			()				

25

(2) 茨城県央・県北脳卒中地域連携パス研究会



平成20年11月より第3版の運用開始



26

茨城県央・県北脳卒中地域連携パス研究会 参加病院・施設一覧

急性期 (11)	運用病院 (8)	水戸済生会総合病院 水戸赤十字病院 水戸医療センター 茨城県立中央病院 聖麗メモリアル病院 水戸ブレインハートセンター 水戸協同病院	参加事業所数 47施設
	参加病院 (3)	常陸大宮済生会総合病院 東北医療センター 高萩協同病院 右岡循環器科脳神経外科病院 脳神経外科 ブレインピア南太田	
回復期 (10)	運用病院 (5)	志村大宮病院 日立製作所 多賀総合病院 城南病院 北水会記念病院 日立製作所 ひたちなか総合病院	
	参加病院 (5)	鹿島病院 城北病院 慶和病院 西山堂病院 志村病院	
維持期 (26)	病院・施設 主要メンバー (11)	いばらぎ診療所 みと 介護老人保健施設 大宮フロイデハイム 介護老人保健施設 ラプラス津田 介護老人保健施設 みがわ 介護老人保健施設 桜の郷 祐寿苑 介護老人保健施設 フロンティア銚田 春の場所 明目葉ケアセンター ケアプランセンター こづる 訪問看護ステーション こづる ケアプランセンター 長寿館 志村フロイデグループ	
	参加病院・施設 (15)	デイサービスセンター水戸桑林 ナザレ園居宅 居宅フォレストヴィラ水戸 常陸太田市社会福祉協議会 指定居宅 まごころ 村松居宅介護支援事業所 田原ヶ丘ヘルシーケア ケアレジデンス水戸居宅 カーサ・ピアンしらさと 常陸大宮市北部地域包括支援センター 常陸大宮市南部地域包括支援センター 城里町役場 包括支援センター 地域包括支援センター 長生園 大子町地域包括支援センター ひたちなか市南部地域包括支援センター 水戸市シルバー人材センター 介護保険事業所	

茨城県保健福祉部

(3) 脳卒中の治療・リハビリ



当院地域連携パス実績

()内数字法人外施設実績

	急性期 ⇒ 回復期	回復期 ⇒ 生活期(維持期)
平成20年度	110件 (51%)	22件 (0件)
平成21年度	117件 (62%)	74件 (5件)
平成22年度	102件 (73%)	96件 (36件)

在宅医療連携拠点事業

29



地域における医療・介護の連携上の課題

- ① **医療・介護全体の情報を共有できるシステムがない。**このため、在宅医療提供の場合、訪問診療、訪問看護等の情報取得が十分にできず対応が遅くなる。
- ② 高齢化、過疎化が進み、在宅を含めた医療資源が乏しい地域においては、とくに在宅の慢性疾患急性増悪患者をスムーズに受け入れられる**在宅療養支援病院の機能**が重要である。
- ③ 在宅療養支援病院の病床機能として病診連携を強化した**開放病床的機能が望ましい。**

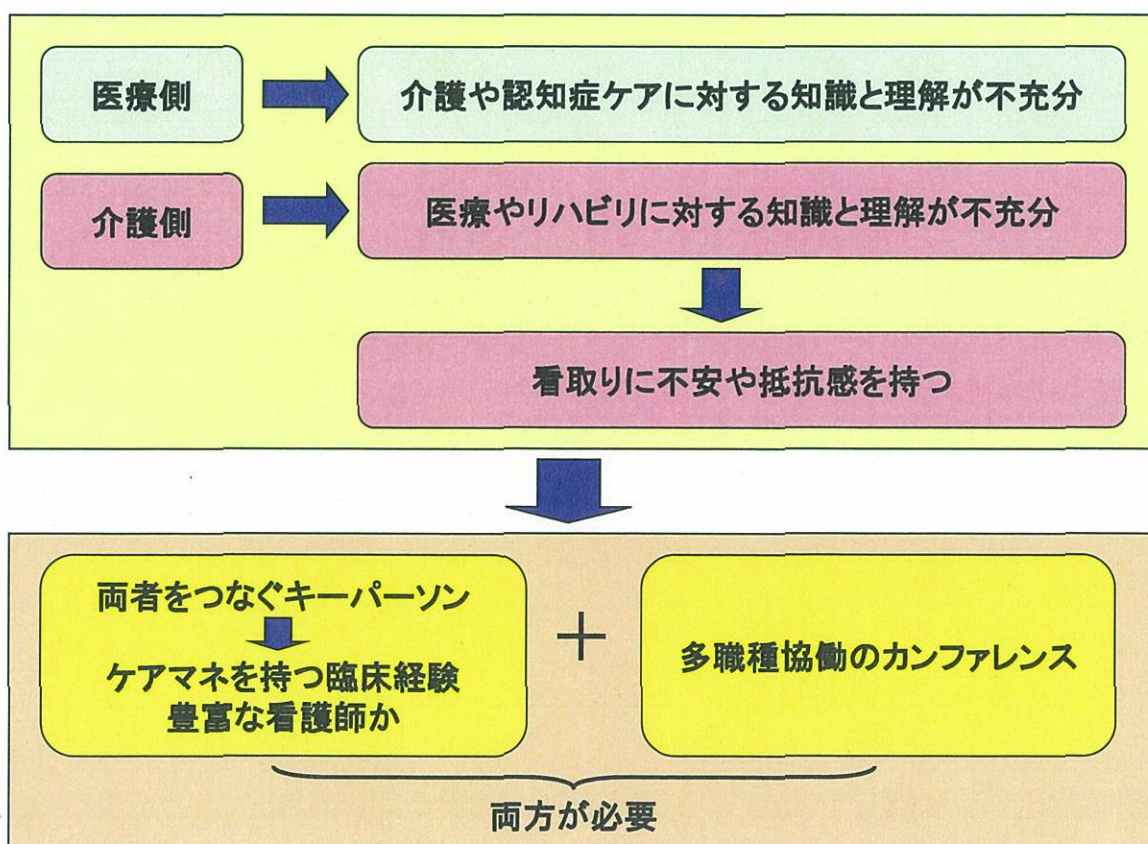
30

地域における医療・介護の連携上の課題

- ④医療・介護の連携を相談できるケアマネ資格を持つ臨床経験豊富な看護師等のキーパーソンの存在が必要である。
- ⑤地域包括支援センター・居宅介護支援事業所との定期的情報交換のシステム化が必要である。
- ⑥在宅医療を担う医療従事者の育成が必要である(訪問看護ステーションが無い自治体もある)。

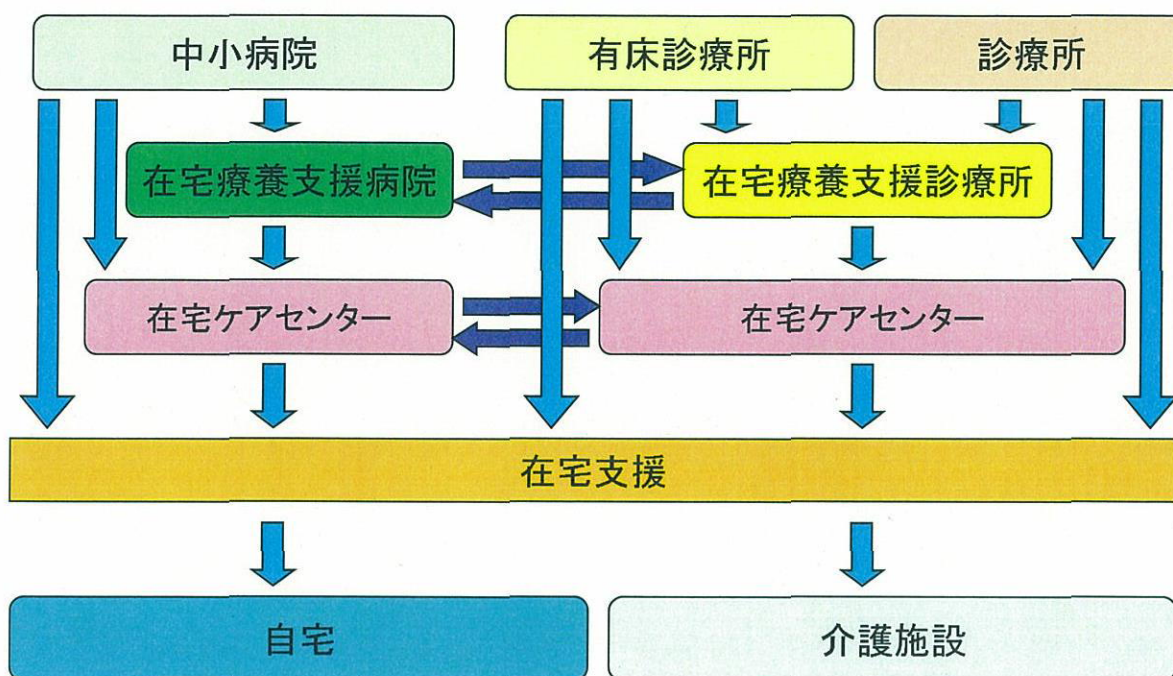
31

医療と介護の連携の課題



32

既存資源を活用した日本型在宅支援モデル



33

多職種連携の課題に対する解決策の抽出について

- ①常陸大宮市内の医療・介護関連病院、施設、事業所を訪問し、問題点の抽出又は、アンケート調査を行う。
- ②抽出した問題点を整理するための検討会の開催
- ③その後、解決策を立案するための検討会の開催

34

在宅医療従事者の負担軽減の支援

- ①地域医療連携コールセンターの設置
24時間体制。拠点を志村地域医療連携センターにおく。
- ②医療従事者、在宅ケア従事者からの相談も地域医療連携コールセンターで対応する。
- ③24時間在宅療養患者を受け入れる。
(在宅療養支援病院としての機能)

35

効果的な医療提供のための多職種連携

- ①病態別在宅医療患者の受け入れに必要な勉強会の開催
- ②地域医療連携意見交換会・懇親会の開催
- ③在宅医療機器の研究と在宅医療の高度化に向けた勉強会の開催
酸素吸入・腹膜透析・中心静脈栄養・人工呼吸・抗がん剤や鎮痛剤の持続注入等
- ④在宅医療充実に向けた医療従事者の教育
訪問看護師・ケアマネジャー資格を持つ看護師の育成

36

活動計画

7月

- ①事業に関する院内での調整
- ②常陸大宮市内の病院、医院、事業所への訪問。
- ③コールセンターの開設

8月～9月

- ①問題点の抽出
- ②専門ワーキンググループによる検討会の開催
- ③在宅医療機器の勉強会開催

10月

- ①退院調整や在宅支援の研修会の開催
- ②病態別による勉強会の開催

37

11月

- ①途中集計
- ②ワーキンググループによる検討会開催

12月

- ①合同会議開催
- ②退院調整や在宅支援の研修会の開催
- ③看護専門学校での公開講座の開催

1月

- ①H23年度の活動実績のまとめ
- ②ワーキンググループによる活動結果発表会の開催。

38

ご清聴ありがとうございました。